

II

実現に向けた 取り組み

この章では、
前章の「まちづくりのコンセプト」に基づき、
浅草の特性を踏まえた9つのアプローチを掲げ、
各アプローチに沿った
具体的な「取り組み」について示します。

各アプローチの読み方 (p.17-22)

- ①コンセプトの名称 各アプローチが、1章で示した「まちづくりのコンセプト」のどれに該当するかを示しています。
- ②未来のまちの姿 各コンセプトに紐づく「アプローチ」を実行することで、将来にどのようなまちの姿になっているかを示しています。
- ③イメージイラスト 各コンセプトに紐づく「アプローチ」を、具体的にまちのどのような空間で実行するかについて、吹き出しとあわせて示しています。
- ④「アプローチ」の番号とタイトル 各アプローチの番号とタイトル(名称)を示しています。
- ⑤各「アプローチ」の意図 各アプローチの実現に向けて、実践する具体的な行動を示しています。
- ⑥実現に向けた取り組み 各アプローチの実現にあたって、実践する具体的な取り組みのメニューを、短期・中長期の時系列ごとに示しています。取り組みの内容については、特定の場所や人などに限定せず、汎用性を持たせた記載としています。

①

② 未来のまちの姿
四季の行事や歴史を継承し、洗車で訪れてきた生き生きとした暮らしや遊びが身近にあるまち
新たな価値観を柔軟に受け入れ、住む人・商いをする人・訪れる人が調和して快適に過ごせるまち
訪れる人にも優しく、国際観光拠点にふさわしい民営時にも不安感の少ないまち

③

① 快適性を磨き上げる

② 未来のまちの姿

③ まちづくりの新しい手の育成

④ 暮らしと観光を共存させる

⑤ 人とまちを安全に

⑥ まちの移動をスムーズに

④ アプローチ

01 暮らしと観光を共存させる

洗車に寄る人・商いをする人・訪れる人が互いに交流できる取り組みを促しながら、まちづくりの新しい手を育てていくとともに、最新技術やデジタルを活用し、住む人は便利に、訪れる人は快適に、そして地元のサービスや観光業がより魅力的になる工夫をしていきます。

建物の更新時における風景形成のルールにより、洗車らしい歴史や趣、新しいまちの姿を育みます。

⑤

⑥

④ アプローチ

02 人とまちを安全に

地上・地下のオープンスペースを拡充し、日常利用と災害時避難場所の両機能を強化し、安全性を高めます。

災害時対応の強化、避難ネットワークの構築、気候変動対応のグリーンインフラ導入、無電柱化の推進など、防災・減災対策を進めます。

⑤

⑥

④ アプローチ

03 まちの移動をスムーズに

社会実験を通じて既存交通のあり方を整理し、歩行者空間とのすみ分けを明確化します。

歩行者中心の道路空間の形成に加え、路線バスやタクシー等の公共交通、希運等の需要ならではの移動手段との結びつきを強化します。

⑤

⑥

まちづくりの コンセプトに 基づくアプロ ーチ

魅力ある空間の質や人の心(ホスピタリティ)を
向上させ、快適性を磨き上げる

地区内の通りや軸を空間的・心理的につなぎ、
人・まちを結わえる

まちのなかに散りばめられた魅力を明確にし、
文化を際立たせる

これらのコンセプトに基づき、
9つのアプローチを掲げ、
まちづくりの取り組みを推進していきます。

快適性を 磨き上げる

- 01 暮らしと観光を共存させる
- 02 人とまちを安全に
- 03 まちの移動をスムーズに

人・まちを 結わえる

- 04 居心地の良い空間をつくる
- 05 駅とまちをつなぐ
- 06 水辺とまちを
むすぶ

文化を 際立たせる

- 07 表舞台をつくる
- 08 本物を伝える
- 09 おもてなしの
質を上げる

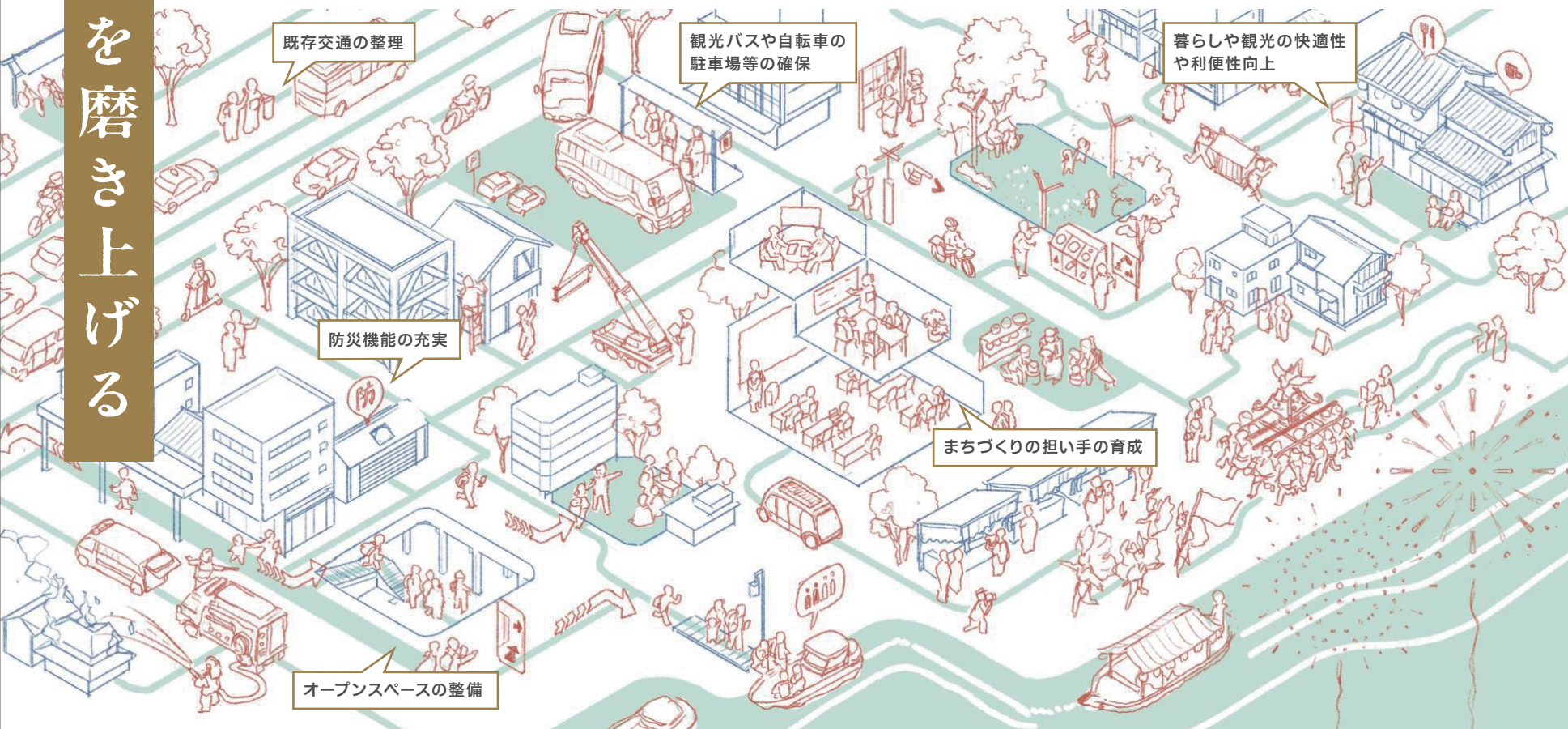
快適性を磨き上げる

未来のまちの姿

四季の行事や歴史を継承し、浅草で紡がれてきた生き生きとした暮らしや営みが身近にあるまち

新たな価値観を柔軟に受け入れ、住む人・商いをする人・訪れる人が調和して快適に過ごせるまち

訪れる人にも優しく、国際観光拠点にふさわしい災害時にも不安感0のまち



暮らしと観光を 共存させる

浅草に住む人・商いをする人・訪れる人が互いに交流できる取り組みを広げながら、まちづくりの担い手を育てていくとともに、最新技術やデータを活用し、住む人は便利に、訪れる人は快適に、そして地元のサービスや観光業がより魅力的になる工夫をしています。

建物の更新時における浅草独自のルールにより、浅草らしい歴史や風情、賑わいあるまち並みを守ります。

実現に向けた取り組み

【短期】

- 住む人・商いをする人・訪れる人が調和しながら過ごせる生活空間の確保
- 通りの賑わいを維持・向上させる、まちづくりの担い手の育成
- 商店街等における人と人がつながる機会の創出
- 暮らしや観光の快適性や利便性向上につながる、まちづくりデータ基盤の構築

【中長期】

- 住む人・商いをする人・訪れる人にとって魅力的な空間・施設の再編
- 通りや水辺空間の賑わいや維持管理に取り組むエリアマネジメントの活性化
- 浅草で起業したい人々がチャレンジできる機会の創出

人とまちを 安全に

地上・地下のオープンスペースを拡充し、日常利用と災害時避難場所の両機能を強化し、安全性を高めます。

災害時対応の強化、避難ネットワークの構築、気候変動対応のグリーンインフラ導入、無電柱化の推進など、防災・減災対策を進めます。

実現に向けた取り組み

【短期】

- 多様な訪れる人に向けた、観光施設や駅周辺等における防災・災害情報発信の充実
- 帰宅困難者に関する避難誘導対策の強化
- 大規模災害時の人や物資の輸送手段の確保
- 酷暑や豪雨等、近年の気候変動にも対応した、安全かつ快適な屋外空間の整備

【中長期】

- 平常時や災害時にも多目的に利活用できる、駅前や主要な通り沿道におけるオープンスペースの整備
- 避難場所等へ安全かつスムーズに移動ができる通りの創出
- 都市基盤整備に合わせた、備蓄倉庫等の防災機能の充実

まちの移動を スムーズに

社会実験を通じて既存交通のあり方を整理し、歩行者空間とのすみ分けを明確化します。

歩行者中心の道路空間の形成に加え、路線バスやタクシー等の公共交通、舟運等の浅草ならではの移動手段との結びつきを強化します。

実現に向けた取り組み

【短期】

- 地区内の既存交通の整理

【中長期】

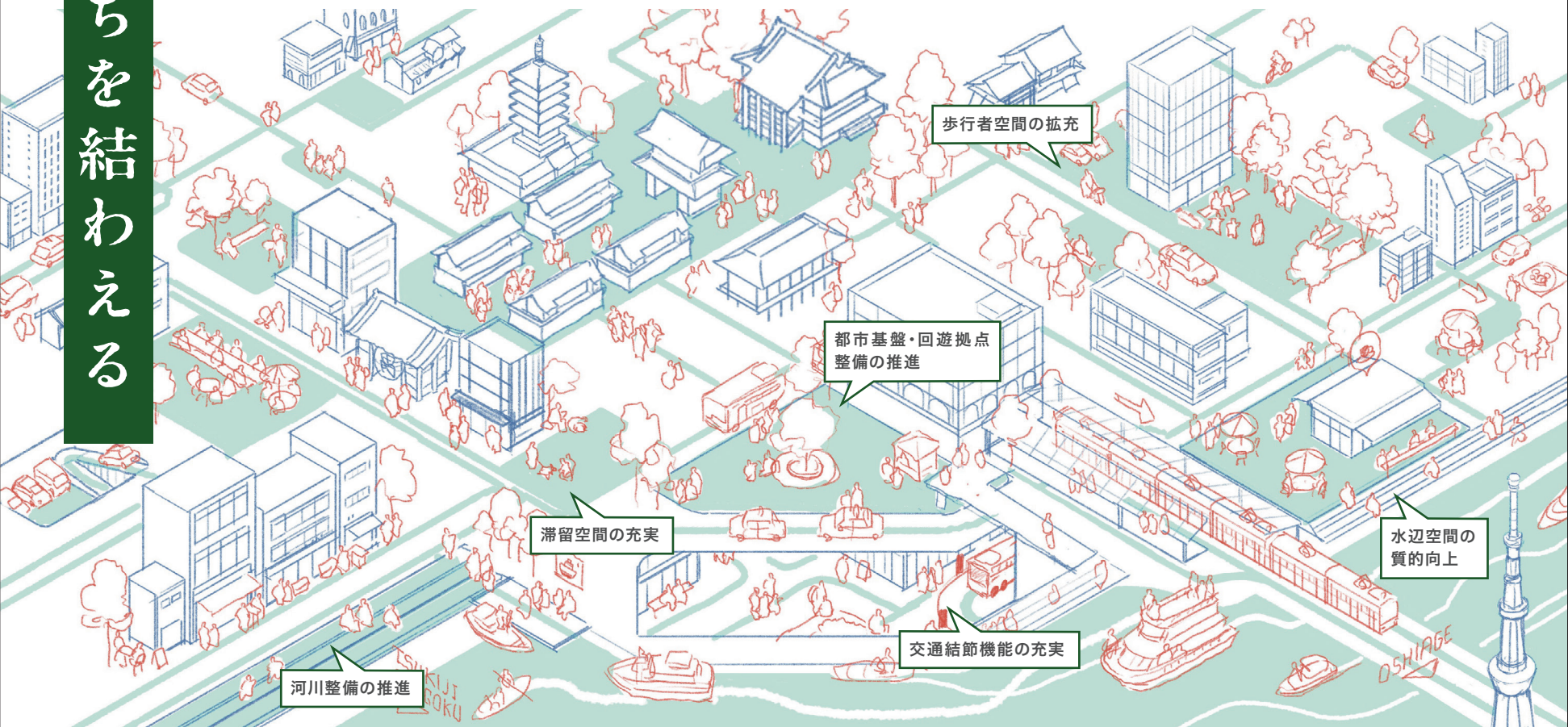
- 新たなモビリティ活用に向けたルールづくり
- 周辺地域とのつながりを強化する、自転車や新しいモビリティ等を活用した交通ネットワークの形成
- 都市基盤整備に合わせた、観光バスや自転車の駐車場等の都市施設の確保

未来のまちの姿

広域的な軸や地区外への広がりにも寄与する拠点づくりが進んだまち

駅とまちが一体的につながり、誰もが分かりやすく使いやすい交通結節点があるまち

住む人・商いをする人・訪れる人がともに楽しめるような、安らぎと賑わいが調和する水辺空間が身近にあるまち



居心地のよい 空間をつくる

イベントや社会実験を通じて公共空間の活用法を検証し、歩いて楽しい歩行者空間や滞留空間の充実を段階的に進めます。

通りごとの個性を活かした舗装・ファサードの美装化を進め、各場所の街並みや空間デザインに配慮するとともに、浅草の歴史ある建物や雰囲気を持・保全し、多くの人にその歴史を感じてもらえるようにします。

実現に向けた取り組み

【短期】

- 未来のまちの姿につながる空間でのイベントや社会実験の継続的な実施
- 浅草の個性や文化を感じさせる建物や街並みの維持・保全

【中長期】

- 賑わいと快適性を共存させる、主要な通りや駅前での歩行者空間の拡充
- 休憩や待合せなど多様なニーズに対応した滞留空間の充実
- 地区内外の個性ある資源に訪れたい、人々の往来や誘引性を高める設え
- ストーリー性を感じることができる商店街ファサードの整備

駅とまちを つなぐ

駅とまちをつなぐため、新たな都市基盤・回遊拠点を形成するとともに、交通事業者と連携し、バリアフリーを含めた利便性の高い乗換空間づくりを進めます。

利用者がスムーズに移動できるネットワークを構築し、わかりやすく移動しやすい地下空間の再整備を進めます。

実現に向けた取り組み

【短期】

- まちづくりプログラムの推進協議会での検討

【中長期】

- 浅草3駅(東武・メトロ・都営)を中心とした、新たな都市基盤・回遊拠点整備の推進
- 浅草駅(TX)や田原町駅と六区ブロードウェイとのつながりを意識した回遊の促進
- 鉄道・バス・水上バス・タクシー・新たなモビリティ等の交通結節機能の充実
- まちづくりに合わせた東武浅草駅の更新
- 平常時や有事の際の利用のしやすさに配慮した、地下空間の再整備

水辺とまちを むすぶ

隅田川や隅田公園、川沿いのまちをつなぐ空間整備で人々の往来と賑わいを創出し、周辺のウォーターフロントにアクセスできるよう、舟運や防災船着場の活用を進めます。

まちづくりと連携したスーパー堤防等の整備により、平常時も災害時も人が集まれる拠点を創出します。

実現に向けた取り組み

【短期】

- 水辺空間の利活用・維持管理に向けた民間主体による河川空間マネジメントの推進
- 水辺に居心地よく滞在できるイベント等との連携・PR促進

【中長期】

- 隅田川や川沿い街区のまちづくりと連携したスーパー堤防等の河川整備の推進
- 水辺にゆとりと潤いをもたらす、緑化の充実やベンチ、サイン等による水辺空間の質的向上
- 舟運での広域的なつながりの強化

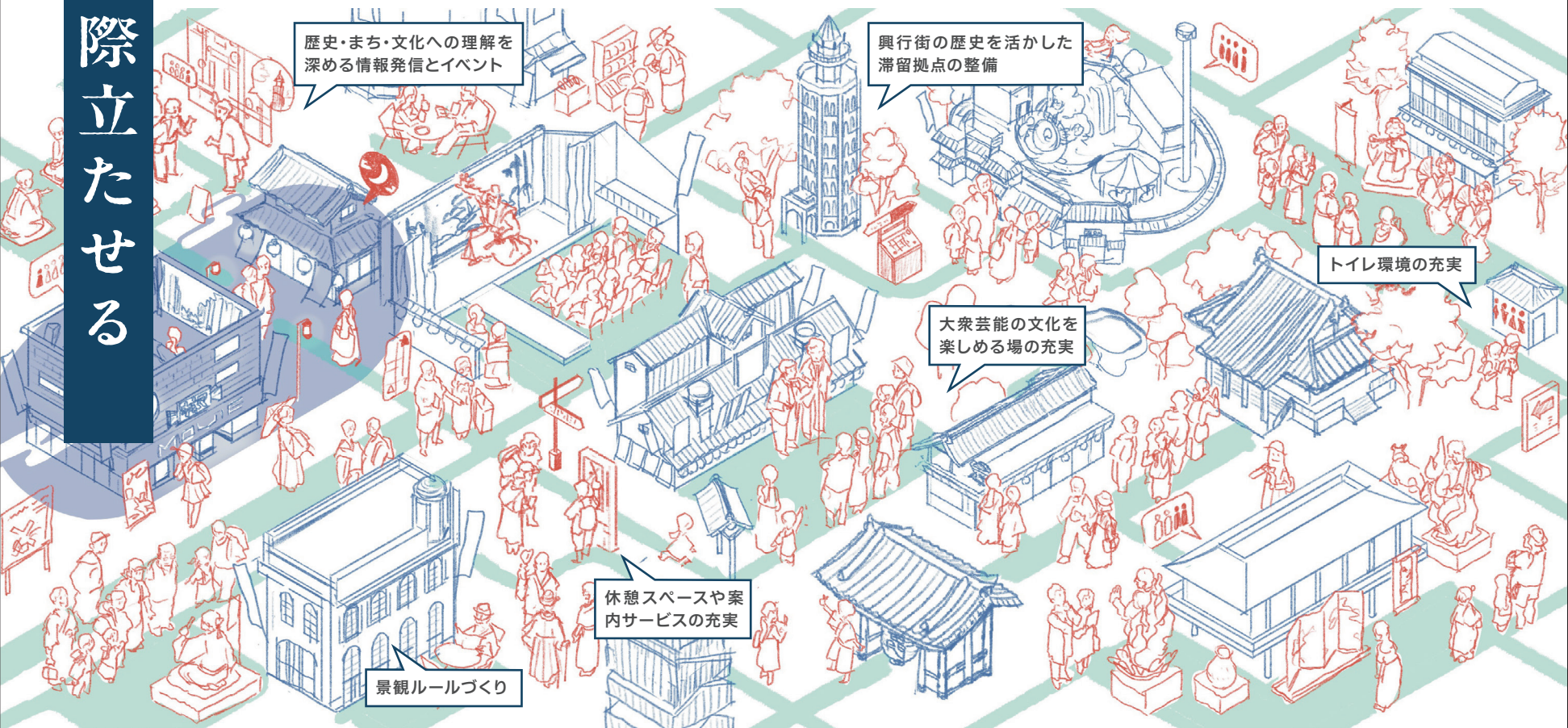
文化を際立たせる

未来のまちの姿

伝統と革新が調和し、国際観光拠点として国内外の多くの人が魅力を感じる多面的な文化や、芸能・娯楽があるまち

まちなみや地域資源の継承・活用を通じて、浅草に根付く歴史や文化、産業を大切にする心を伝えられるまち

浅草のまちに思いやりや心からのおもてなしが溢れ、訪れる人を快適に受け入れることができるまち



表舞台をつくる

浅草寺などの文化資源を大切に育みながら、浅草独自の伝統・文化・芸能を活かした多様なイベントを提供し、ブランド価値を高める場づくりを進めます。

景観やまちの特性に配慮したルール導入と空間整備により、浅草に住む人・商いをする人・訪れる人が誇りに思えるまちを目指します。

実現に向けた取り組み

【短期】

- 1400年を超える歴史文化を伝える、新たな滞留拠点の整備
- 伝統ある文化と活気に溢れた、浅草らしさが感じられる屋外広告物等の景観ルールづくり
- 生活に根付いた祭りやイベントに合わせて柔軟にかたちを変えるまちの環境整備

【中長期】

- 興行街の歴史を活かした地区のシンボルとなる滞留拠点の整備事業の推進
- 「芸の聖地」浅草の大衆芸能の文化を体験し、楽しめる場の充実

本物を伝える

浅草の歴史・文化・魅力を様々なメディアや手法で積極的に発信し、多くの人に学びや発見の機会を提供します。

「浅草でしかできない体験」を磨き上げ、国内外に戦略的にプロモーションすることで、訪れる方に希少性の高い体験を楽しんでもらいます。

実現に向けた取り組み

【短期】

- 幅広い世代に向けた、浅草の歴史・まち・文化への理解を深めるための情報発信とイベントの実施
- 付加価値の高いものづくり産業を支える環境整備
- 広がりのある浅草を楽しめる、おすすめの観光ルートの発信

【中長期】

- 住む人・訪れる人がともに堪能できる、環境変化に応じた個店力の強化

おもてなしの質を上げる

快適に観光してもらうための休憩スペースや案内サービスなどの受入環境を段階的かつ計画的に整備・充実していきます。

住む人・訪れる人・商いをする人が快適に過ごせるよう衛生環境を整え、地域と観光の共存のためのマナー啓発を進めるとともに、混雑緩和に取り組みます。

実現に向けた取り組み

【短期】

- 公共空間や空き店舗などを活用した休憩スペースや案内サービスの充実
- まちなかのトイレ環境の充実と利用マナーの啓発
- オンライン観光案内・混雑情報の発信による歩行者空間の拡充
- ナイトタイムでの観光を促す滞留空間やコンテンツづくりの整備

【中長期】

- 持続可能な観光の促進に向けた受入環境整備

